—特集—保険適用となった圧迫療法 日本静脈学会弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター養成委員会報告 イントロダクション：圧迫療法の保険収載に寄せて

孟 真^{1,2}

静脈学2021; 32(1): 19

下肢静脈疾患は下肢動脈疾患、糖尿病性足病変に比して注目度も低く、専門とする医療関係者の数も限られてきた。これは、日本フットケア・足病医学会でも同様であった。しかし最近、下肢静脈瘤の血管内焼灼術も一般に知られるようになってきており、静脈疾患の啓発も進んできた。今回、2020年4月より静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）が保険収載された。これは、主に慢性静脈不全症の基本病態である静脈性高血圧に対する基本治療であり、保存療法である“圧迫療法”に対する保険収載である。収載範囲は慢性静脈不全のうち最重症の静脈性潰瘍に限られる。しかし、日本静脈学会サーベイでは、圧迫療法は静脈性潰瘍患者に適正に施行されていることが少なく、静脈性潰瘍の難治性、再発性に関与していると考えられた¹⁾。“圧迫療法”が保険収載され

たことは、わが国で、標準治療として認められたことを意味する。日本フットケア・足病医学会会員の皆様におかれましてはどうか、保険請求の条件である弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター講習会に参加し、施設認定取得を進めていただきたい。

付 記

日本フットケア・足病医学会誌2020; 1: 109-140 特集：保険適用となった圧迫療法日本静脈学会委員会報告の二次出版。

文 献

- 1) 白石恭史, 八巻 隆, 孟 真, 他：静脈性潰瘍 (Venous Ulcer)：本邦における静脈疾患に関する Survey XIX. 静脈学2018; 29: 1-12

Reimbursement of Compression Therapy for Venous Leg Ulcer

Makoto Mo^{1,2}

¹Committee of Elastic Stocking and Compression Therapy Conductor of the Japanese Society of Phlebology

²Department of Cardiovascular Surgery, Yokohama Minami Kyosai Hospital

Jpn J Phlebol 2021; 32(1): 19

¹ 日本静脈学会弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター養成委員会

² 横浜南共済病院循環器センター心臓血管外科

doi: 10.7134/phlebol.20-23-1